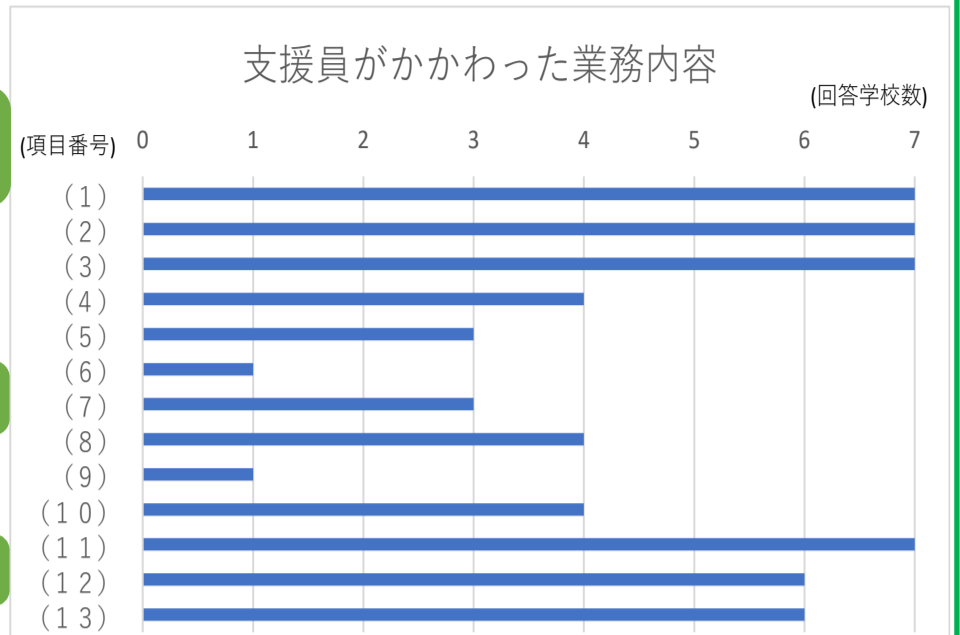


1. 教頭等マネジメント支援員配置事業モデル校取組状況調査より

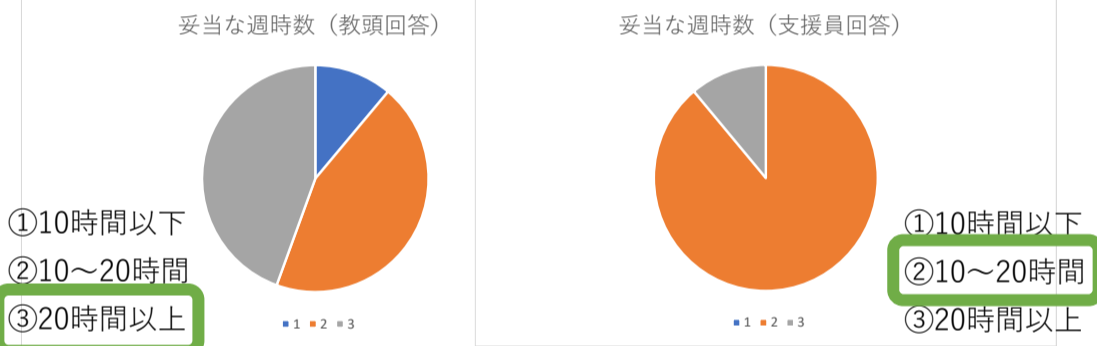
令和6年度に新たに教頭等マネジメント支援員を配置した7校の平均値

		教頭等マネジメント支援員 月間勤務時間	71h
		教員数	34人
教頭	9月 時間外勤務時間計	R5	86h
		R6	61h
	9月時間外勤務の減少時間 (R6-R5)		25h
全教員	9月 時間外勤務時間計	R5	1515h
		R6	1373h
	9月時間外勤務の減少時間 (R6-R5)		142h



支援員配置の効果といえるかは、今後分析を進める必要があるが、9月の1ヶ月において、**教頭の時間外勤務時間の月平均は減少している**。また、ほとんどの学校で、**元管理職の方を支援員として配置している**。**管理補助業務、保護者や外部との軽微な連絡調整のみならず校長が認めた業務として、教職員や児童生徒の支援にもかかわっており、スクール・サポート・スタッフの活用とは違った効果があることが報告された。**

- (1) 校内巡視 (解錠、施錠、施設点検)
- (2) 教職員の勤務管理・サービス管理
- (3) 書類の整理
- (4) 職員室の管理
- (5) メールチェック
- (6) スクールバスの運行管理調整 ※該当する学校のみ
- (7) 会議資料や保護者宛文書
- (8) 行政機関等からの調査・統計への回答
- (9) ホームページのチェックや更新
- (10) 欠席連絡の対応
- (11) 電話の取り次ぎ
- (12) 来客の取り次ぎ
- (13) その他校長が認めるもの ()
 - 緊急対応、別室登校生徒対応補助
 - 児童の安全確保、見守り
 - 授業サポート、健康観察チェック
 - C4thへの校内掲示
 - 学校巡回、給食アレルギー対応
 - 児童支援、保護者との面談、学校行事等への補助



「支援員が配置され、大変助かっている。業務上の負担が軽減されるのみならず、**心理的負担も軽減されている**。」ということが共通して聞かれた。一方、**1日学校にいて欲しいと感じている学校側に対して、半日の勤務でよいと考えている支援員とのニーズのギャップがあること、講師不足の昨今に適任者の人材確保が容易ではないこと、スクール・サポート・スタッフやICT支援員、学習支援員等の他の外部人材による支援との差別化を図ること、などが今後の課題である**と考える。

2. 採点業務省力化ソフトの使用状況調査より

1. 実施概要

R4.4 県立全日制高等学校 (38校) 及び県立中学校 (1校) に環境 URL を付与し、ICT 支援員も活用しながら学校ごとに使用環境整備の上活用スタート	R6.3 令和6年度石川県公立高等学校入学者選抜学力検査において、県立高等学校4校に採点システムを導入
--	---

2. 教職員の多忙化改善への効果分析

- **同時採点の機能を使うと、待機の必要がなく、各自が自分のPCを用いて同時に採点できる**
判断が分かれた問題について、**最後に複数人で確認することができ、ミスを防ぎながら作業を進められる**
- **合計や小計の計算や念査作業が自動計算のため省略**
- **解答状況調査などの時間を短縮**
- **問題毎の平均点、正答率がわかりやすく、教務課の業務の処理が迅速にできる**

昨年度よりもさらに利用実績が上昇している学校がほとんどであり、操作にも慣れ、採点時間がさらに短縮したとの報告があった。また、学力検査に導入した全てのモデル校からは昨年度より採点時間が短縮したと報告された。